NPO法人ASTERが 日本のソフトウェアテストを ワクワクさせてるぞ、という話

NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (Association of Software Test EngineeRing)

理事長 西康晴

(電気通信大学 大学院情報理工学研究科 総合情報学専攻 講師)



Profile

Assistant professor:

the University of Electro-Communications, Japan (also providing consultancy service to industry on testing and TQM)

President:

Association of Software Test Engineering, Japan (ASTER)

President:

Japan Software Testing Qualifications Board (JSTQB)

National delegate:

ISO/IEC JTC1/SC7/WG26 Software testing for ISO/IEC/IEEE 29119-1, 2, 3, 4, 5 and ISO/IEC 33063

Founder:

Japan Symposium on Software Testing (JaSST)

Founder:

Testing Engineers' Forum (Japanese community on software testing)

Founder and awards committee member:

Software Test Design Contest

Vice chair:

SQiP/Software Quality Committee of JUSE (promoting organization of TQM) (SQiP has published the book of "SQuBOK: Software Quality Body of Knowledge")





ASTER: ソフトウェアテスト技術振興協会

- テストを軸にして、ソフトウェア品質向上に関する教育や調査研究、普及振興を行うNPO法人
 - » Association of Software Test EngineeRing / 2006年4月に設立 / 理事・会員は無給
- ソフトウェアテストシンポジウム(JaSST)を開催している
 - » 2003年に開始 / 実行委員は手弁当 / 海外から講演者を招聘 / 関西・四国・北海道・九州・東海・新潟・東北でも開催

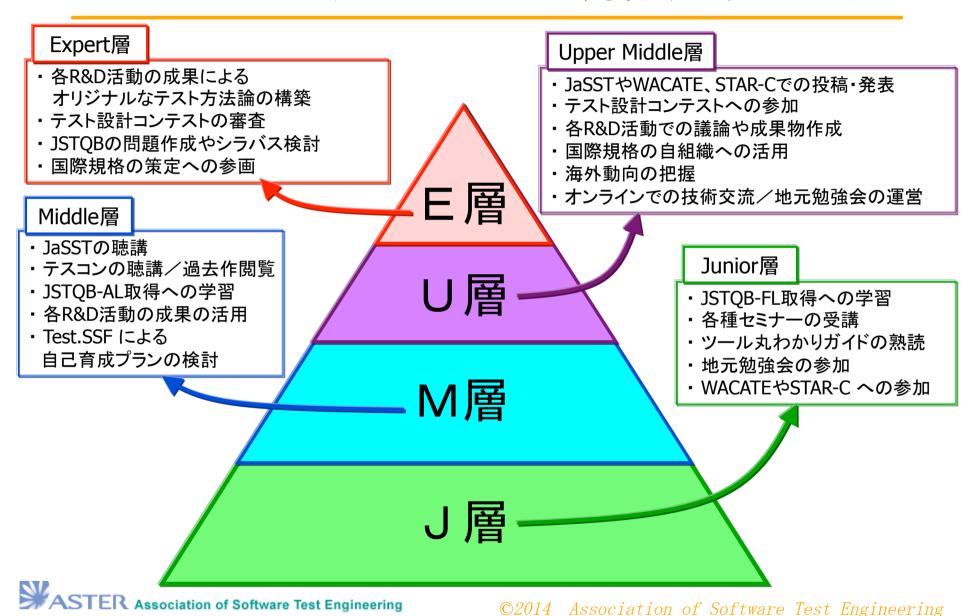


- テスト設計コンテストを開催している
 - » JaSST11 Tokyoより開催、2012年から全国展開 / ソフトウェアテスト技術の向上と促進の機会を提供
- ソフトウェアテストの資格試験(JSTQB)を運営している
 - » 2005年にISTOBに加盟/現在70ヶ国以上から構成/全世界で30万人以上が認定を受けている
 - » Foundation Levelは16854名の受験者・9000名の合格者(2006年~2014年1月時点)
 - » Advanced Level (テストマネージャ) は744名の受験者・278名の合格者 (2010年~2014年1月時点)
- 各地でソフトウェアテストの教育や活動支援を行っている
 - > テストのスキル標準(Test.SSF)をIVIA様と共同で開発(2011年8月より、順次公開)
 - » 札幌や新潟などで自治体と共同で教育 / 勉強会開催の支援により地場の産業振興の定着を図る
- 国際連携活動を行っている
 - » ASTA: アジア各国とテスト技術の交流 / ISO/IEC国際標準化活動とのリエゾン
 - » 海外動向の調査と日本の技術の海外への紹介も行っている(StarEAST調査、ICST誘致など)
- テスト開発方法論などの先端技術を研究開発(R&D)している
 - » 智美塾:「テストアーキテクチャ設計」を中心にテスト開発方法論について議論を展開
 - » STE:エンタープライズシステム向けのソフトウェアテストの振興およびマーケットの創出への貢献
 - » テストツールWG:テスト自動化研究会(STAR)様と協力・連携しながら活動を進める。 また「テストツールまるわかりガイド(入門編)」を作成(2012年7月公開)
- » プロジェクトファーブル:ソフトウェア欠陥の分類・整理、予防 / Wモデル研究会 Association of Software Test Engineering © 2014 Association of Software

欧米からの技術輸入と国内での内製とのバランス

【欧州から輸入すべき技術】 【北米から輸入すべき技術】 探索的テスト ・テストプロヤス ・プロセス改善 ・(ビジネス視点での) ・フレームワーク化/規格化 リスクベースドテスト 自動化(キーワード駆動テスト) • 白動化 ・アジャイルでのテスト ■アジャイルでのテスト 【日本で内製すべき技術】 大規模/高信頼性/ 派生開発でのテスト (テストアーキテクチャ設計) ・開発上流への貢献(Wモデル) ・バグ分析からのテスト(ファーブル) ドメイン固有のテストに関する 知識や資産の蓄積(STE)

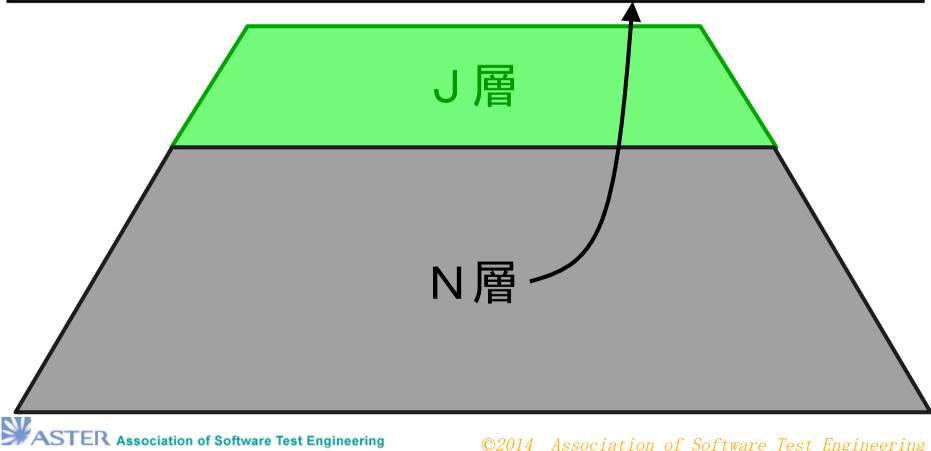
ASTERのソフトウェアテストの人財育成トライアングル



ASTERのソフトウェアテストの人財育成トライアングル

Novice層

テストは単純作業ではなく「ワクワクする極めるべき技術」であり、 自分たちはエンジニアだと認識してもらう



ASTERの(理事長の?)意志

- ソフトウェアテストは"きれいごと"ではない
 - テストに来るしわ寄せに苦しむのはいつも、地方、末端、小規模
 - 技術を極めようとしないと、いつまでたっても「作業」を売ることから脱却できず、 技術を売ったり、品質を売ったりできるようにならず、幸せになれない
- ソフトウェアテストは「ワクワクする極めるべき技術」だ、 ってことを皆に分かってほしいし、 いつでもどこでも誰にでも成長して欲しい
 - 世界で戦うために技術輸入と技術内製の戦略を(実は)立てている
 - 会社に頼らず自律して成長できる場とテーマをASTERとして提供している
 - 成長した人はASTERの仲間として一緒に活動したい
- ASTERのようなコミュニティは本業じゃないけど本気でやっている
 - コミュニティ活動によって自分もスキルアップし、みんなもスキルアップできる

ソフトウェアテストって、 ワクワクする技術なんだぜ!

